

レジストリ・レジストラ 関連状況報告

第53回ICANN報告会：2018年12月6日

株式会社インターリンク

Jacob Williams



ICANN 63 でのレジストリ/レジストラ 主要な話題

レジストラ関連
レジストラ部会とICANNコンプライアンスチーム
Privacy and Proxy Service (P/Pサービス)
Thick Whois Implementation for Com/Net 状況

レジストリ関連
GDPR対応(ハブ & スポークモデル) - RDAP報告参照
レジストリ監査
その他 (PICDRP / Centralized Zone Data Service (CZDS) /
RDE契約/2文字SLD/RSEPプロセス改善)

共通
Registration Data Access Protocol (RDAP)
GDD Industry Summit

*次期新gTLD募集手続きポリシー
*WHOIS暫定ポリシー策定プロセス検討

レジストラ部会/ICANNコンプライアンス

レジストラ部会では、暫定仕様書に関連して、WHOIS情報のほとんどが非表示となっていることで以下のような問題があるとICANNコンプライアンスチームに指摘しました:

- WHOIS表示されているメールアドレスまたはウェブフォームが機能していません。
- WHOIS情報を閲覧した人がGDPRや暫定仕様書のことを知らず、情報が非表示になっていることに関して問い合わせてくるケースも多い。
- レジストラ間のドメイン移管におけるFOAの取得に関して、レジストラ側の理解が足りていないところもあり、対応がレジストラごとに異なる。

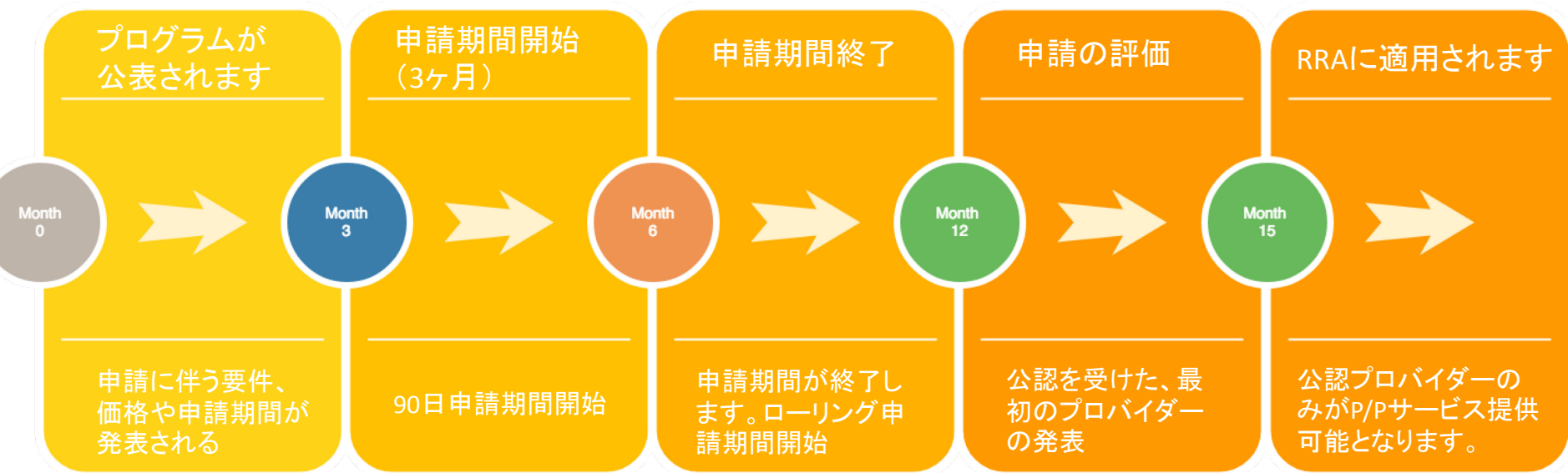
レジストラ部会/ICANNコンプライアンス

- ICANNコンプライアンスチームでは、暫定仕様書が施行され、それについて話し合うEPDPチームが動いている現状と、ICANNがDNSアビューズに対する対策に焦点を置いていることを踏まえて、レジストラに対する監査を今回は実施しないことを発表しています。
- ICANNのレジストラ担当であるJennifer Gore氏が今会議前にICANNを辞めていたことが会議の2日前にレジストラに通知されました。
- GDD (Global Domain Division) のAkram Atallah氏が10月初めにICANNを辞め、新gTLDの大手レジストリであるDonutsのCEOに就任しました。

Privacy Proxy Service Provider Accreditation Program

- Privacy and Proxy Service (P/Pサービス) を提供するための ICANN 認定プログラム導入を検討する IRT (Implementation Review Team) では、提案された認定プログラムの内容を現在レビューしています。
- ICANN 直前 (10月18日) に kick off meeting を行い、公認プロセス、契約、コンプライアンス方針など議論しました。
- ICANN バルセロナ会議で行われたセッションでは GDPR 関連でデータ処理の仕方に関する内容が不確定な現時点では、パブリックコメント期間に入るには時期尚早という理由でまだレポートの公表されていません。

Privacy Proxy Service Provider Accreditation Program



Thick Whois PDP

- COM .NETのThick WHOISへの移行ポリシーの施行日をさらに6ヶ月延期されました。
- 新しいポリシー施行日は2019年5月31日に設定されました。

レジストリ監査

- 2018年11月にSpec 11. 3b(DNSアビューズ)関連の監査を行うと発表しました。
- 11月6日付で全レジストリオペレータに対して監査の通知を送りました。
- 11月27日までにRFI(Request for Information)に記載されている内容に返答して提出義務がありました。

その他の話題

- 2019年1月に新システムがNaming Services Portal内に導入される予定です。
- Date Escrow Data Processing Agreementに関してICANNはRegistry Data Escrow (RDE)プロバイダーと協力して、GDPR関連の項目を決めAddendumを作成する予定です。
- Public Interest Commitment Dispute Resolution Procedure (PICDRP)のプロセス改善
- 2文字SLDについて位置を述べた。
- Registry Services Evaluation Process (RSEP)のプロセス改善

Registration Data Access Protocol (RDAP)

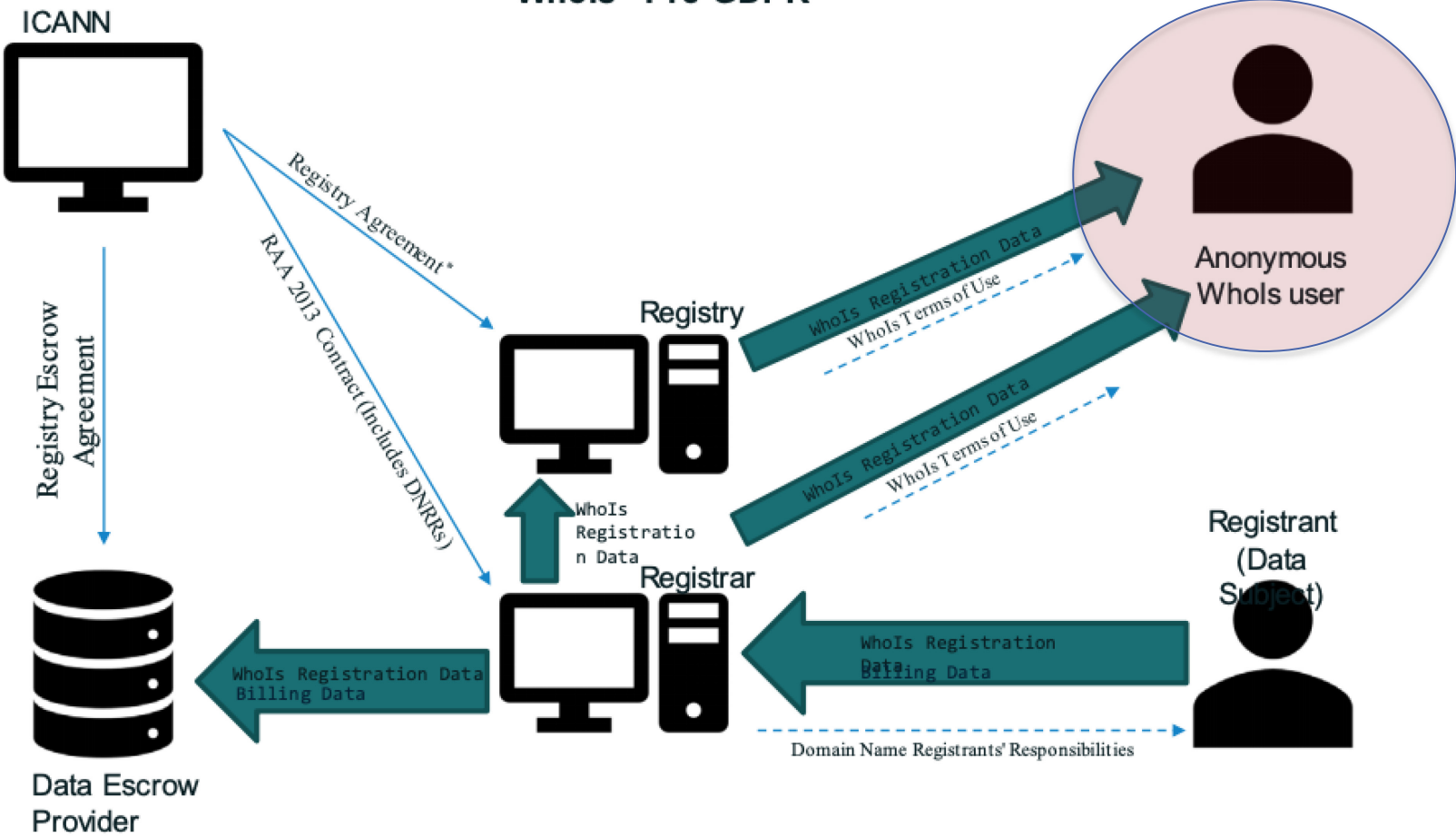
- 今回のICANNではRDAP関連セッションは2つほどがあって、一つ目はRDAPパイロットに参加したメンバーがコミュニティーにRDAPの基本情報を共有したセッションでした。もう一つはパイロットWGメンバーとICANNスタッフの非公開のセッションでした。
- RDAPは、現行のWHOISへアクセスするPort43プロトコルに代わる、ドメイン登録者データへアクセスするプロトコルです。
- RDAPは現在のWHOISシステムと比べると利点はいくつかがあります：
 - クエリと応答を標準なフォーマットでできる
 - オブジェクトが検索可になる
 - コンタクト情報表示が多言語対応 (Internationalized)
 - セキュリティ強化
 - アクセスレベルによって、表示するデータの設定ができる。
(Differentiated Access)

Registration Data Access Protocol (RDAP)

- パイロットプログラムは2018年7月末で終了し、参加していた Verisign、Google、Afiliasなどのレジストリ・レジストラによってまとめられたRDAPの仕様が公開され、パブリックコメント期間が2018年10月13日に終了しました。
- サービスレベルアグリーメント(SLA)とレジストリの報告要件に関する話し合いを行なっています。
- 途中でgTLD登録データの暫定仕様書が施行されたことで、作業が一旦停止しています。EPDP関係で影響を受ける仕様は下記の通り:
 - TechとAdminのフィールド
 - Legal vs Natural Persons のアクセス権
 - データフィールド別で情報表示のコンセントはいるのか
 - 「Reasonable Access」など

Registration Data Access Protocol (RDAP)

Whols - Pre-GDPR

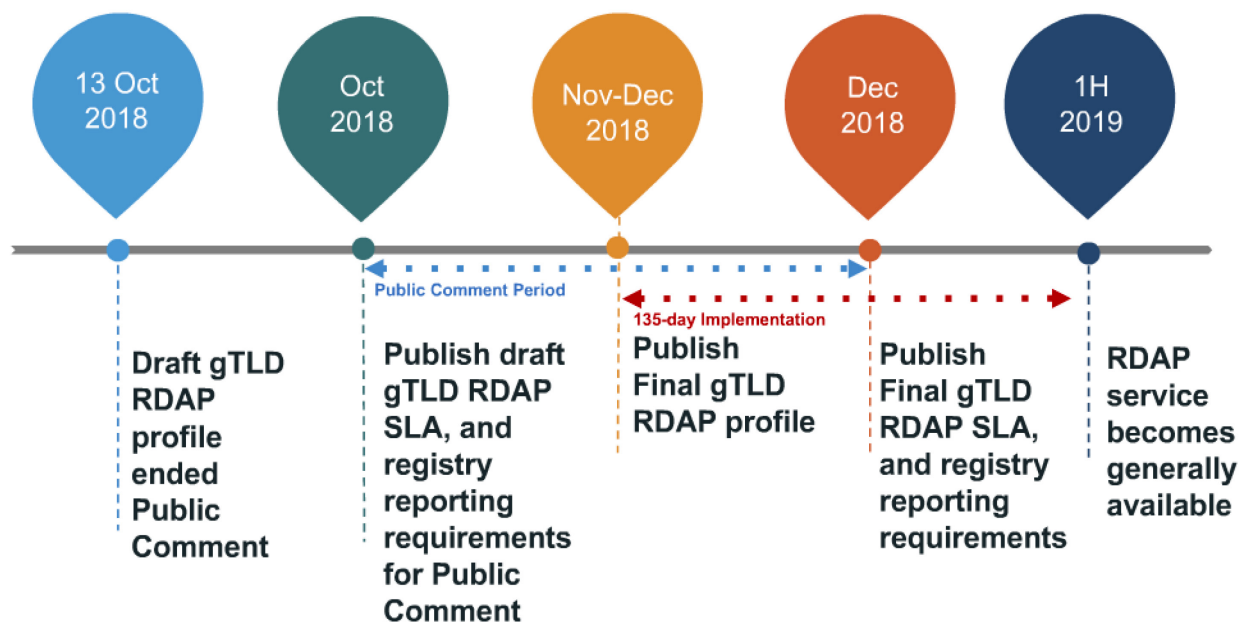


Registration Data Access Protocol (RDAP)

- レジストリ・レジストラ両方で導入が必須です。予想では2019年前半に導入作業を開始しなければならないそうです。
- ICANN Blogでは8月にRDAP Technical Implementationガイドなどを紹介しました。
(<https://www.icann.org/news/blog/moving-forward-with-rdap>)

Registration Data Access Protocol (RDAP)

Expected RDAP Implementation Timeline



GDD Industry Summit

次回のGDD Industry Summitは、以下の要領で開催されることが決定しました。

開催日：2019年5月6日～9日

会場：シャングリラホテル、バンコク

- 前回開催と同様に、GDD Summitの直後に同じ会場で以下の3つのイベントが開催されます。
- 2019年5月9日 – Registration Operations Workshop
- 2019年5月10日～11日 – DNS Symposium
- 2019年5月12日～13日 – DNS OARC meeting

参考

- Privacy and Proxy Service Provider Accreditation Program:
<https://community.icann.org/display/IRT/Reference+Materials>
- RDAPパイロットWGの説明資料
<https://static.ptbl.co/static/attachments/192816/1541100666.pdf?1541100666>

お問い合わせ:
gTLD@interlink.ad.jp